

ユニベール株式会社 ・ 株式会社 ラポート

カーテンからカーテンへ 完全循環リサイクル事業

事業概要・目的

カーテン縫製時に排出される端材や使用済カーテン製品においては、現在、衣料のような完全循環リサイクルが成立していない。その理由としては、カーテン生地には様々な添加剤が含まれており、リサイクルへのハードルが高いことがある。今回、ユニベール（株）・（株）ラポートのカーテン製造販売専門企業の特性を生かし、生産時に発生するカーテン端材（ポリエステル素材）から遮光カーテンに使用する黒色原糸（汎用糸）を再生し、再びカーテンを製造する事業を行った。

カーテンの完全循環リサイクル事業が実現すれば、カーテン業界全体への波及効果が期待できる。

事業の効果

ポリエステル製カーテン縫製時に排出される端材および使用済カーテン製品の廃棄量の削減のほか、新たなカーテンを製造する際に使用する資源使用量の削減や二酸化炭素排出量の削減効果がある。

事業結果

○カーテン端材回収～紡糸化・染色加工結果

回収したカーテン端材から、端材100%由来のペレットを作製した。紡糸化にあたっては、端材由来ペレットを10%の比率で使用することに成功した。その後、仮撚り加工をして得られた遮光カーテン用の黒色原糸の織物化・染色加工を行い、カーテン織物を作製することに成功した。

○課題

- ・ペレタイズ化における歩留まり率（今回約7%）やカーテン端材由来ペレット使用率（今回10%）の向上
- ・成果品に見られた若干の毛羽立ちや捲縮性による皺の解消

○目標及び今後について

各工程で得られた課題については、諸条件を調整することで、より品質の良いカーテンを再生できる。

<<再生カーテンのカーテン端材由来ペレットの使用率の向上について>>



今後、端材から再生したカーテンの継続的な販売に向けて検証を行っていく。製品化が実現した際には、カーテン由来ポリエステル〇〇%使用とパッケージに印字し、リサイクル製品として販売予定。また、小売業者を巻き込み、他社製品も含んだ廃カーテンの店頭回収を行っていくとともに業界全体に本モデル事業を普及させ、数年後にはカーテン端材&製品（店頭回収品や返品物）の混載生地をペレット⇒糸への加工に挑戦していく。

モデル図

